

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社ファンケル発芽玄米							
代表者名	氏名	池森行夫	役職名	代表取締役				
主たる事務所の所在地	長野県東御市祢津1080-8							
主たる事業の分類	大分類	E 製造業						
	中分類	0999 他に分類されない食料品製造業						
主たる事業の概要	発芽玄米の製造・販売							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者						
原油換算エネルギー使用量	1,304	kl	その他ガス排出量合計	0	t-CO ₂	自動車の台数	3	台

2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

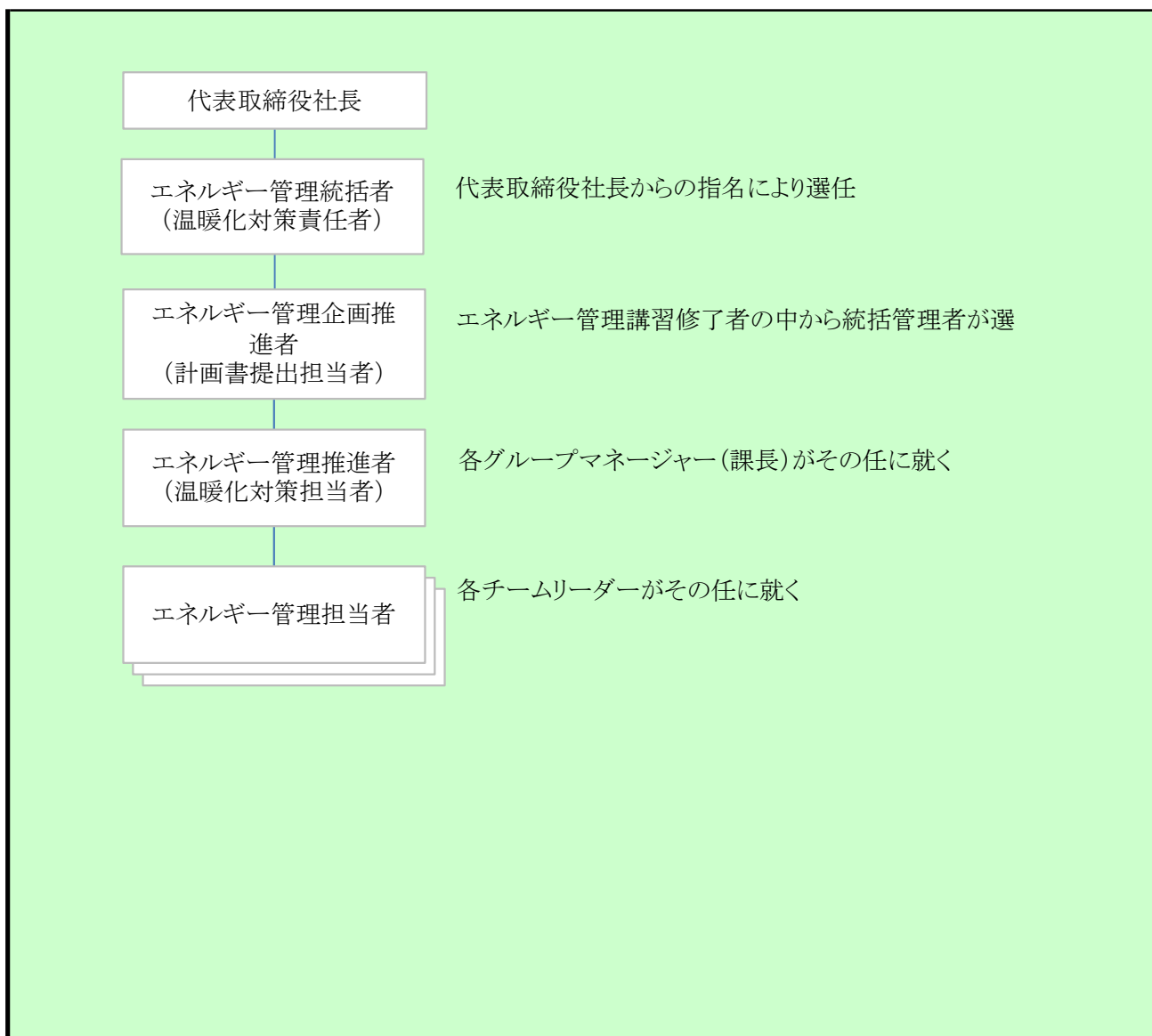
3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input checked="" type="checkbox"/>	その他	自社システム内にデータ保管、平日営業時間内（8:30～17:15）に要望に応じ出力し閲覧が可能、担当部署：管理グループ TEL:0268-64-8311

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

「もっと何かできるはず」「人間大好き企業」のファンケルグループは、世の中の「不」の解消を目指し、安心・安全・やさしさを追求し、常にお客様の視点に立ち、「お客様に喜んでいただくこと」をすべての基準とするという企業理念の下、企業活動のあらゆる面において環境保全に貢献することを目指します。

5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	3,443	t-CO ₂	生産数量	4.67	単位	千t	
25年度	調整後排出量	2,825	t-CO ₂	基準原単位	738.05	t-CO ₂ /	千t	
目標年度	目標排出量	3,326	t-CO ₂	目標原単位	712.96	t-CO ₂ /	千t	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
28年度	目標削減率	3.40	%	目標削減率	3.40	%		
目標設定に関する説明	ファンケルグループ全体の中長期計画(ファンケルECOプランVII)より目標年度の削減率を設定。 コンプレッサーに関わる電力消費量削減を、対策の基軸として目標達成を目指す。 生産数量は基準年並みを想定し、原単位においては同水準の削減率を目指す。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	3,054	t-CO ₂	生産数量	4.32	単位	千t	
	調整後排出量	3,038	t-CO ₂	原単位	706.78	t-CO ₂ /	千t	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
26年度	削減率	11.29	%	削減率	4.23	%		
排出量等の増減理由	排出量の減少は生産数量の変動影響を受けていますが、原単位の削減は特に冬季の燃料消費量が削減できたことが寄与しています。							
第二年度	排出量	3,148	t-CO ₂	生産数量	4.68	単位	千t	
	調整後排出量	3,136	t-CO ₂	原単位	672.65	t-CO ₂ /	千t	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
27年度	削減率	8.56	%	削減率	8.86	%		
排出量等の増減理由	INV制御式コンプレッサーの導入及びLED照明の段階的導入							
第三年度	排出量	2,875	t-CO ₂	生産数量	4.39	単位	千t	
	調整後排出量	2,860	t-CO ₂	原単位	654.60	t-CO ₂ /	千t	寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
28年度	削減率	16.49	%	削減率	11.30	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	工程間のバルク貯留容量拡張により、下流待ちの待機エネルギーロスを削減							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
25年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	2	t-CO ₂			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量		t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	330201 外気導入と循環比率調整	26	12	26	12
2	エネ起	380752 LEDの導入	26	4	27	4
3	エネ起	360703 INV制御コンプレッサーの導入	27	48	27	48
4	エネ起	320302 スチームトラップの保全	26	12	26	12
5	エネ起	370799 電動力応用設備、電気加熱設備等に 係る削減対策			28	65
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	618		16	12	15
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	3,443						
1,500k1未満			1	3,054	1	3,148	1	2,875
合計	1	3,443	1	3,054	1	3,148	1	2,875

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
合計	0	0	0	0
自動車総数	2	2	3	3
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	なし
その他	なし

1.5 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	なし
公共交通機関の利用促進	なし
来客者の交通対策	なし
物流の合理化	工場近隣の倉庫を拠点に全国配送している

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO14001	2002年(2014年認証返上)
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	歩留改善による生産効率向上、ノー残業デーの設置、クールビズ・ウォームビズ奨励、グリーンカーテン、敷地内緑地保全
第一年度実績	外気導入と循環比率調整、スチームトラップの保全、製造条件の見直しによる工程稼働時間の短縮、炭化水素系液体燃料活性触媒によるボイラ燃料の燃焼効率向上、ボイラ台数制御の時間帯別条件見直し、
第二年度実績	INV制御式コンプレッサーの導入、LED照明の段階的導入、ノー残業デー継続、クールビズ・ウォームビズ奨励、外気導入と循環比率調整、スチームトラップの保全、製造条件の見直しによる工程稼働時間の短縮
第三年度実績	LED照明の段階的導入(品質管理室)、ノー残業デー継続、クールビズ・ウォームビズ奨励、工程下流待ち解消による待機エネルギーの削減

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	350651 変圧器負荷の統合	26
その他	LED照明の段階的導入(品質管理室)、ノー残業デー継続、クールビズ・ウォームビズ奨励、工程下流待ち解消による待機エネルギーの削減	